

風の流氷

◆一般投稿作品◆

広報委員会 選

透析日また筍か食ひ急ぐ
音たかくフラフはためく五月ばれ
天心に八十八夜の月懸かる
記念樹のしだれ桜や初初し
一族が集ふて灯る春障子
マイカーの窓全開や新樹風
北山が緑に光る立夏かな
やわらかき彩にほひ立つ嶺の春
扉越しに藤の花咲く留守の家
約束の刻過ぐベンチ花の冷え
廃校の刻の止りし木蓮花
木洩れ日に古代重ねて胡蝶花
口笛につられ張り合う鶯か
柿の葉の新緑広がる今朝の窓

◆かがみ野俳句会◆

露地裏を睦み合ひては春の蝶
待合の静けさ破る咳一つ
老大工草もち食ぶる日差し受け
トラクターこたま 餅す音や春動く
夜に入りて雨芳しき野火の痕
異邦人同行二人の遍路笠
木蓮の白のほぐるる最寄駅

福甲あつちのものり
三木 牧子
山崎 貴子
山崎 寿美
森本 幸美
森本 純喜
三谷 誠郎
中村 紫乃
都築 忠義
上池 児末
楮佐古きよ
岡田 初美
五百蔵利美
有澤 春江

◆美良布俳句会◆

母慕ひ泣く児可愛ゆし入園す
空つららなんじやもんじやの咲き盛る
静あらしひもありし水番なつかしき
町医者あしなとワイン談義や水温む
入学児呼ばれし声にすつと立ち
うぐいすの声を励みに手鞆振る
水音に消されてならじかわず鳴く
ちりめん井定食うまし港町

◆かほく俳句会◆

畑打つや母無きことにまだ慣れず
のどかなり木木に風にと梅ノ久保
白木蓮咲かせて宙の深かりし
花の道来るや黒猫宅急便
散る桜ベギー葉山を惜しみけり
手櫛する美しき項に花の風
山笑ふ神戸は坂の多き街
父・母も私も村も臍おぼろにて
花吹雪忘るることはひとつづつ
読経聞く花満開の高照寺
天地の広やかにして空海忌
明日ありと祈りて春の灯を落とす
夜桜や自販機灯る明るさに
これ以上明るくなれず著我の花
古草の濡れて新たな色を得る
初燕つが番ひらしきが床の間に
剪定し狭庭に空を取り戻す
菜の花やバスに乘ろうか止めようか

岡本かほる
明石ゆきゑ
北村 幸子
北村 里子
小野川順子
前田 芳子
中内ゆかり
竹内 ろ草

乾 真紀子
奥宮 かな
堅山 高子
黒岩千英子
小松 隆之
小松 昇
杉山 春萌
野村 里史
前田 欣一
前田 智
間崎 和代
宮崎 侃
宗石 愛喜
森本 之子
山崎かずみ
山中 晶子
山中 明石
山中 瑞輝

◆土佐山田町俳句会◆

山桜明石全登の陣太鼓
新聞のチラシが重い四月馬鹿
若緑はやも木漏れ日あやつりぬ
春の宵病む人の手に万華鏡
バジルま時くさらさらと時く素手で時く
満席のバス賑やかに露の花
花人となりて出会ひのハイタッチ
佐保姫のお出座し土佐は薄暑なる
桜さくら満車表示の駐車場
老年も背筋伸ばせと葱坊主
談議所という字ありて焚火跡
体操教室窓のさくらも揺れ合へり

今月のキラリ

約束の刻過ぐベンチ花の冷え
約束の時間が過ぎてても一向に現れない待ち人
あれこれ詮索しながら待つ時間。折からの花
冷えの中、ふと待ち人を氣遣うのであろう。

俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。住所、氏名、電話番号を明記してください。
▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。
【投稿先】 総務課内広報委員会事務局 俳句・短歌係
〒782-8501 (住所記載不要) FAX 53・5958

吉井勇記念館だより

第6回紫陽花コンサート

橘ハーモニカクラブの皆様によるハーモニカアンサンブルのコンサートを開催します。
吉井勇作詞のゴンドラの唄をはじめ、懐かしい歌謡曲・童謡などが演奏されます。迫力あるハーモニカ方の音色をお楽しみください。
【日時】 6月24日(土) 14時～
【場所】 吉井勇記念館
【送迎バス】 ※要予約
香美市役所本庁舎より、JRバス美良布駅経由で、送迎バスを運行します。
行き 本庁舎12時30分発 (美良布駅12時50分)
帰り 記念館15時15分発 美良布駅経由本庁舎

年間パスポートのご案内

年間パスポート会員になると、有効期間中に何回でも無料で入館できるほか、吉井勇や猪野々に関する情報、企画展の案内等をお届けします。
【申込方法】 所定の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、年会費1500円を直接記念館にお持ちいただくか、定額小為替または現金書留で、吉井勇記念館までお送りください。
※随時受付、1年間の更新制
【申込先】 〒781-4247 香北町猪野々5114番地 吉井勇記念館
【注意事項】 申し込み用紙提出後、年会費が入金された時点で会員となります。申し込み用紙は郵送もできますのでご連絡ください。

◆問い合わせ先 吉井勇記念館 ☎58・2220

アーティストの窓

香美市立美術館

香美市立美術館では、絵の中の小さな旅・国内編を開催します。この展覧会は、日本国内の風景が描かれた収蔵作品の中から、題名に地名があるものや場所が特定できるものを選んで構成しています。

の重厚な富士山、上島一司の力強い奈良の風景、中村博の足摺、西岡瑞穂の室戸の海など、それぞれの作風による幅広い年代の風景画が楽しめます。

また、香美市にある美術館として、本館には、私たちがとって身近な風景を描いた作品が数多く集まっています。市民の皆さんにとっては、見覚えのある故郷の景色も見ることができるところではないでしょうか。初夏の爽やかな季節に、ぜひ『絵の中の小さな旅』に出掛けてみましょう。(館長・都築房子)



絵の中の小さな旅 国内編

6月10日(土)～7月17日(月・祝)
休館日/毎週月曜日(祝日の場合、火曜日が休館)



▲土佐三十絵図『桂浜』(復元本)/坂本義信